

平成28年度霞が関特別講演(前期)実施結果概要

○東京大学 本郷キャンパス 〈会場：法文1号館法学部22番教室〉
 各回 前半 17:30~18:30 後半 18:40~19:40

回	月日	講演テーマ及び講師	学生の声
1	4月12日(火)	「マイナスをプラスに変える力」 警察庁 長官官房人事課 課長補佐 藤山 智将 氏	・警察関連の仕事について、地方創生という「プラス」の側面と絡めての話が聞けてとても有意義だった。 ・ご自身の経験にも触れながら警察庁職員に求められる資質・精神を知ることができ、大変興味深かったです。
		「すべての女性が輝く社会/男女共同参画社会の実現に向けて」 内閣府 男女共同参画局総務課 課長補佐(総括担当) 佐藤 勇輔 氏	・日本の女性の就労支援についての事実を様々なデータや数字から実感することができて新鮮でした。 ・女性活躍について今のような動きがあるのかよく理解できてよかった。講師のキャリアについても伺うことができ、参考になった。
2	4月19日(火)	「職業外交官という選択—対中外交の経験から—」 外務省 国際法局条約課 課長補佐 永森 沢吾 氏	・外交のプロセスを一から教えていただき、進路を選ぶ上で参考になる点がたくさんありました。 ・ニュースなどを見ているだけではわからない具体的な実質を知ることが出来大変役に立ちました。
		「安全保障と私」 防衛省 防衛政策局日米防衛協力課 前任部員 射場 隆昌 氏	・イメージの沸く語り口で講演者の仕事への愛情が伝わってきた。 ・防衛省と他省の違いや仕事内容、求める人物といったことを話していただき、とても良かったと思いました。防衛省のお仕事のスケールの大きさを知ることができました。
3	4月26日(火)	「公共事業のその先へ～民間とのパートナーシップ～」 国土交通省 総合政策局 官民連携政策課長 大澤 一夫 氏	・PFI、PPPの具体的な例などを聞いてとても面白かった。 ・具体的な業務内容とともに、行政官の方の問題意識や省庁としての将来の展望も知ることができ、有益な機会でした。
		「会計検査院でできること」 会計検査院 事務総長官房能力開発官付 研修調査官 前川 猛 氏	・会計検査院の業務や組織概要だけでなく、調査官がどのような考え方で業務に当たっているのか、また、検査した案件がどのようにして発見され、世に影響を与えるのかを知ることができて有意義でした。
4	5月10日(火)	「社会保障から国のカタチを創り、地域を再生する」 厚生労働省 老健局総務課 認知症施策推進室長 水谷 忠由 氏	・厚生労働省でどんな仕事をしているかイメージが湧いた。業務の幅の広さを実感した。 ・人と人との関わり合いや一人一人の生活をイメージしながら働くことの大切さを感じました。
		「低炭素社会をつくるために」 環境省 総合環境政策局環境影響評価課 環境影響審査室長 神谷 洋一 氏	・国際問題として長年議論されている地球温暖化問題について、国際的な取組と国内での課題の両面の理解を深めることができた。 ・環境省の問題は世界規模であるし、近い将来確実に直面するであろう重大な問題だと感じた。
5	5月17日(火)	「金融機関のビジネスモデルの持続可能性～企業・経済の持続的成長と安定的な資産形成等による国民の厚生の増大の実現～」 金融庁 監督局総務課 課長補佐 齊藤 貴文 氏	・金融業界・行政における最新の問題意識について、様々な観点から理解することができて良かった。 ・各金融機関の多様性を殺さず、色々なところから意見を聞いて提案していくという金融庁のスタンスは新鮮だった。
		「財務省というしごと」 財務省 主計局 文部科学担当主査 河本 光博 氏	・財務官僚の仕事に対する確固たる信念を感じた。 ・主税局・主計局の仕事内容を理解できたとともに、その本質をも適格に説明していただけて非常に有益であった。
6	5月24日(火)	「いま、この文科省で働く—たった一つのこと—」 文部科学省 スポーツ庁 競技スポーツ課長 先崎 卓歩 氏	・文部科学省で働く上での心構え、求められる能力についての話を聞くことができ、とても参考になりました。 ・日本の将来を支える若年層の育成のために、教育という部分が重大なウエイトを占めていると感じた。文部科学省は未来の日本に投資をする省庁なのだと感じた。
		「我が国の農林水産業をめぐる国際情勢と対応」 農林水産省 大臣官房国際部 国際政策課長 渡邊 洋一 氏	・近年注目を浴びる機会の多い農林水産業を巡る国際情勢に関して理解を深めることができた。 ・とてもスケールの大きい仕事だと思いました。農林水産省の役割・課題について具体的なイメージが湧きました。
7	5月31日(火)	「国家公務員という選択、経済産業省という選択」 経済産業省 大臣官房秘書課 課長補佐 丸田 康一郎 氏	・経済産業省の概要と魅力がよく分かりました。イメージ以上に幅広い仕事をされているんだと感じました。 ・講師の話す様子から、経済産業省にエネルギーで熱いイメージを持った。
		「グローバル人材を育成する ～行政官の留学制度～」 人事院 人材局研修推進課 派遣研修室長 府川 陽子 氏	・国家公務員は国の将来を担う人材であるから、世界的な視野を持つことは必要であるし、そのために人事院が留学制度を担当していることは大切なことだと感じた。 ・いかなる省庁も海外の公的機関と連携していることが実感できました。
8	6月7日(火)	「何のために霞が関に来るのか。あなたに期待すること」 総務省 自治財政局公営企業課理事官(前熊本県総務部長) 木村 敬 氏	・熊本の最前線の経験や、現場と国の両方の経験から見える課題、国で働くことの意味や求められる能力など、とても参考になる濃密なお話で印象的でした。 ・熱意を持って仕事に取り組まれていることが伝わり、非常に心を打たれました。
		「人権擁護活動を巡る諸状況について～ユニバーサル社会の実現に向けて～」 法務省 人権擁護局人権啓発課 補佐官 井川 良 氏	・人権「啓発」という、必要であるがとても形が見えにくいものに取り組んでいく苦労などが伺えて良かった。今後変化や新しい発想がますます必要な仕事だと感じ、興味深かった。

○京都大学 吉田キャンパス 〈会場：法経済学部本館法経第11教室〉
各回 前半 13:30~14:30 後半 14:40~15:40

回	月日	講演テーマ及び講師	学生の声
1	4月14日(木)	「日本の未来を創るICT」 総務省 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室 企画官 松田 昇剛 氏	・技術の革新とも密接につながる通信行政業務についてその将来性の広さを知ることができ、大変興味深かったと感じました。 ・講師の体験を通じて、ICTの政策の具体的内容や重要性がわかりました。
		「国を動かす～財務省の現場 社会保障関係予算、国際租税を例に～」 財務省 主計局 主計官補佐(厚生労働第六係、第七係主査) 原田 浩気 氏	・財務省の方がどのような仕事をしているか、特に仕事の規模を知ることができてよかった。 ・国を動かす仕事は、やはり魅力的だと思いました。
2	4月21日(木)	「世の中を変える仕事」 国土交通省 近畿運輸局 自動車部長 金指 和彦 氏	・一言で国土交通省といっても、インフラやバリアフリーなど携わる業種は非常に多岐にわたるのだと感じた。 ・「仕事の成果が目に見える」という言葉が印象に残りました。
		「外交実務の現場から見た国際法」 外務省 国際法局国際法課 課長補佐 有光 大地 氏	・背景にある考えまで含めた安全保障についてお話しいただいて理解が深まりました。 ・とても大変でももしろくて、やりがいのある仕事だろうと感じました。
3	4月28日(木)	「21世紀の安全保障を創る～一層激しくなる安全保障環境と如何に向き合うか～」 防衛省 整備計画局防衛計画課 業務計画第2班長 河田 知宏 氏	・日本の防衛関係の認識を深められる貴重な時間だったと思います。 ・自衛隊を通じて幅広い分野で活躍できるという話が興味深かったです。
		「社会構造のイノベーションを先導する～環境を「てこ」にして～」 環境省 総合環境政策局総務課 課長補佐 大倉 紀彰 氏	・環境省の社会変革におけるリーディングな役割を知ることができ興味を持った。 ・経済発展と環境改善が必ずしも対立するものではないというお話は大変興味深かったです。
4	5月19日(木)	「少子高齢化に立ち向かう我が国の戦略 ～各国との比較を踏まえて～」 厚生労働省 社会・援護局事業課 課長補佐 先崎 誠 氏	・少子高齢化や雇用、社会福祉の問題に関して、相關的に話を聞いたのが有意義だった。 ・他国の制度や施策を輸入するだけでなく、日本の社会にフィットした政策をつくれる行政官になりたいと思った。
		「マイナスをプラスに変える力」 警察庁 長官官房人事課 課長補佐 藤山 智将 氏	・警察官としての誇りにしても話していただき、ご本人や警察庁で働く人々が国民一人一人に寄り添うことを大切に真剣に向き合っていることがわかりました。 ・海外や各県警に行くことが多いことに驚いた。
5	5月26日(木)	「文部科学省の魅力 ～未来への先行投資～」 文部科学省 国立大学法人大阪大学企画部経営デザイン課長 西 久美子 氏	・講師の歩んできたキャリアと文部科学省の目指す方向が明確に述べられていて、具体性もあり非常に有意義な講演だった。 ・文部科学省での勤務や大学での勤務がイメージできるようになった。
		「国家公務員という選択、経済産業省という選択」 経済産業省 大臣官房秘書課 課長補佐 丸田 康一郎 氏	・中小企業庁・特許庁での現場の経験や省庁を選ぶ上で心構えなどを聞くことが出来て良かった。 ・実際に現場の人の声を聞き政策立案のヒントにしている大切さがわかりました。
6	6月9日(木)	「“選択される農業”の実現に向けて」 農林水産省 経営局就農・女性課長 佐藤 一絵 氏	・農林水産省の仕事の一端を知ることが出来たと同時に、講演者の方の日本の農業に対する熱い気持ちが伝わってくる、非常に刺激的な講演でした。 ・非常に面白い内容で農業のイメージが変わりました。
		「2020年に向けた出入国管理構想～水際最前線から在留管理まで～」 法務省 入国管理局 出入国管理情報企画官 近江 愛子 氏	・法務省というとドメスティックなイメージがあったが、観光やテロ対策にも関わる、対外的な行政もやっているのだとわかった。 ・入管行政は、これからオリンピックに向けて重要な分野だと思うので、今後も注目していきたい。

○一橋大学 国立西キャンパス 〈会場：本館24番教室〉

各回 前半 13:30~14:30 後半 14:40~15:40

回	月日	講演テーマ及び講師	学生の声
1	4月27日(水)	「地方自治の最前線から～現場と霞が関を行き来するキャリアパス～」 総務省 自治財政局調整課 課長補佐 山本 周 氏	・地方での勤務が思っていたよりも楽しさとやりがい満ちていそうだと思います。地方をよくするために本気で取り組んでいらっしゃることを強く感じました。
		「消費者目線の行政とは」 消費者庁 総務課 企画官 小堀 厚司 氏	・消費者が安全性等をも選べるようなインセンティブ作り、制度作りという視点もある点に共感した。 ・幅広い業務を行っている点が意外だった。
2	5月11日(水)	「日本外交の現場から一日米安保・日韓関係を中心に」 外務省 北米局日米安全保障条約課 課長補佐 山崎 修 氏	・ニュースなどで見る外交問題の裏で、日本を支える仕事にとっても惹かれました。国際政治に関心があるので、具体的な政策や論理を聞くことが出来てよかったです。
		「意外と広い国税庁のフィールド」 国税庁 長官官房人事課 課長補佐 松井 めぐみ 氏	・思っていたよりも多彩な業務を行っているのだと思いました。 ・今話題のタックスヘイブンについても、その背景まで知ることが出来てとても良かったです。

○名古屋大学 東山キャンパス 〈会場：全学教育棟本館C15講義室〉

第1部 13:30~14:30 第2部 14:40~15:40 第3部 15:50~16:50

回	月日	講演テーマ及び講師	学生の声
1	5月28日(土)	「未来を創る省庁、文部科学省 ～日本の未来、子どもたちの未来、あなたの未来～」 文部科学省 国立大学法人名古屋大学国際部国際企画課 主幹 篠原 量紗 氏	・文部科学省の政策はもちろん、講師のキャリアも聞くことができ、自分のキャリアについて考えるきっかけとなった。 ・文科省の仕事の幅広さが分かって面白かったです。
		「公正取引委員会の業務～自由で公正な取引を守る～」 公正取引委員会 事務総局中部事務所 総務管理官 吉川 泰宇 氏	・国民の生活や関心事に意外と関わっている業務内容が多いと驚きました。 ・独禁法ができた背景や歴史を振り返りながら説明して下さったのでわかりやすかったです。
		「内閣府の担うマクロ経済政策について」 内閣府 大臣官房人事課 企画官 佐藤 鐘太 氏	・各省庁も含めた全体の国の方針を決める重要な仕事だと感じた。 ・実際の業務や仕事内容を示してもらうことで内閣府の役割がよくわかりました。

○九州大学 箱崎キャンパス 〈会場：箱崎文系地区講義棟302講義室〉

第1部 13:00~14:00 第2部 14:15~15:15 第3部 15:30~16:30

回	月日	講演テーマ及び講師	学生の声
1	5月14日(土)	「金融庁という生き方」 金融庁 総務企画局企画課保全企画室 総括補佐 中村 香織 氏	・金融庁の方の仕事のマクロ的な視点からお聞きすることができ、「金融」のイメージをより強く持つことが出来ました。 ・最近注目されている施策についても知ることができてよかったです。
		「「日本」を設計し、世界を変える」 経済産業省 大臣官房総務課 柴田 和也 氏	・経済産業省の方針とその成果物である政策についてお話をいただき、明確なイメージをつかむことができました。 ・経済産業省では国富拡大のために多方面にわたる政策に取り組んでいることを知ることができた。
		「一億総活躍社会実現に向けて ～少子高齢化に直面した日本経済の活性化策～」 厚生労働省 保険局国民健康保険課 課長補佐 羽野 嘉朗 氏	・人口減少問題について、たくさんの方の視点からお話が伺えたのがよかったです。 ・熊本地震と合わせて具体的にお話いただけたのは非常に参考になりました。